

躍動みやざき

巻頭言



宮崎のスポーツを盛り上げよう！！

宮崎県スポーツ指導者協議会
会長 河野 敏 史

この度、宮崎県スポーツ指導者協議会の会長を拝命いたしました、河野敏史でございます。

歴史と伝統ある本協会の会長職を拝命し、光栄に存じますとともに、廣田彰前会長と関係各位のご尽力により築かれてきた本協議会の歩みに深く敬意を表し、今後の発展に向けて微力ながら尽力してまいります。

私はこれまで、スポーツを愛する一人の人間として、スポーツの持つ「力」を信じ、中学校や高等学校、そして障がい者スポーツにおいてもその可能性を追求してまいりました。今年9月に開催された「東京2025世界陸上」では、連日多くの観衆が国立競技場に足を運び、日本選手への声援はもとより、世界から集まったアスリートとともに大会を盛り上げ、世界新記録の誕生の瞬間と一緒に喜ぶ光景を観たときに、スポーツを通じて得られる感動や喜びは、多くの人の心を揺れ動かし、社会を動かす力があることを再確認させられる大会でもありました。

近年、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しております。スポーツ庁が掲げる第3期スポーツ基本計画では、「誰もがいつでもどこでもスポーツに親しめる社会の実現」が目指されており、学校部活動の地域展開や生涯スポーツの推進、障がい者スポーツの充実など、多様な施策が展開されています。今後は、子どもから高齢者、障がい者まで、誰もがスポーツに参加し交流できる地域スポーツの創造に力を入れていきたいと考えております。特に、中学校の部活動の地域展開が進む中で、子どもたちが多様な形でスポーツを楽しめるよう、ジュニアスポーツ

環境の選択肢を広げていくことが重要であると認識しています。

こうした中、スポーツ指導者には、技術指導のみならず、安全管理、ハラスメント防止、倫理観の涵養、そして多様性への理解と対応力が強く求められるようになりました。日本スポーツ協会による公認スポーツ指導者制度も刷新され、資格体系の明確化と研修制度の充実が進められています。指導者は、継続的な学びを通じて、時代に即した知識と技能を身につけることが求められており、地域におけるスポーツの担い手として、より高い専門性と社会的責任を担う存在となっています。

本県においても、スポーツは地域の活力を育む重要な要素です。温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、スポーツ合宿や大会の誘致が盛んである一方、少子高齢化や指導者の高齢化、地域間の指導体制の格差といった課題も顕在化しています。特に、若手指導者の育成や女性指導者の登用、資格取得支援など、持続可能な指導者体制の構築が急務となっております。

本協議会では、こうした現状を踏まえ指導者の資質向上とネットワークの強化を図りながら、地域に根ざしたスポーツ環境の整備に努めてまいります。スポーツを通じて、子どもたちの健やかな成長、地域住民の健康づくり、そして共生社会の実現に貢献できるよう、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

引き続きみなさまの御支援・御協力を宜しく願います。

第79回国民スポーツ大会の結果について

1 総合成績（男女総合：天皇杯）

天皇杯 31位 皇后杯 33位



2 成績の推移

年	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
開催県	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀
順位	42	39	44	39	41	延期	中止	32	27	32	31

3 競技種目別入賞

(1) 団体競技（9競技 11種別・種目入賞）

競 技 名	種別	順位	競 技 名		種別	順位
体操	成年男子	6 位	フェンシング（サーブル）		成年男子	3 位
テニス	成年男子	5 位	バドミントン		少年女子	5 位
	少年女子	8 位	弓道	近的	少年男子	5 位
ソフトボール	成年男子	2 位		遠的		2 位
バレーボール（ビーチバレー）	少年男子	3 位	アーチェリー		成年男子	7 位
剣道	少年女子	5 位				

(2) 個人競技（11競技 60種目入賞）

競技名	種別	種目・順位
陸上競技	成年男子	300m 6位（池下）・走幅跳 3位（田中）・走高跳 5位（原口）
	成年女子	100mH 1位（清山）・やり投 3位（長）
	少年男子	共通110mH 2位（高城）・共通棒高跳 8位（山下）・B3000m 4位（竹田）
	少年女子	A5000m競歩 6位（岡村）
水泳（競泳）	成年女子	50m自由形 2位・100m自由形 6位（久保田）
ローイング	成年男子	ダブルスカル 8位（橋口・井上）
	少年女子	シングルスカル 6位（中武）
ボクシング	成年男子	ライトフライ級 3位（金谷）・ライト級 5位（宮本） ライトウェルター級 3位（奈須）
	少年男子	ライトフライ級 2位（中野）・フライ級 2位（瀬戸山） ライト級 3位（市野）・ウェルター級 1位（本庄）
レスリング	成年男子	フリースタイルレスリング 97kg級 3位（高橋） グレコローマンレスリング 77kg級 5位（堀北）・130kg級 5位（岩澤）
	少年男子	フリースタイルレスリング 60kg級 5位（前原） グレコローマンレスリング 80kg級 5位（田原）
	女子	53kg級 3位（内野）
セーリング	成年男子	420級 8位（宮本・今津）
	成年女子	国スポウインドサーフィン級 4位（新嶋）
	少年男子	420級 6位（井上・吉岡）
ウェイトリフティング	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク 7位（中村）
	少年男子	61kg級クリーン&ジャーク 8位（時吉） 81kg級スナッチ 6位（脇田） +102kg級スナッチ 3位・クリーン&ジャーク 7位（永前）
女子	女子	49kg級クリーン&ジャーク 7位（鎌田） 59kg級クリーン&ジャーク 8位（五十川） 71kg級スナッチ 4位・クリーン&ジャーク 2位（宮越）
自転車	男子	4kmチーム・パシュート 8位（岡本・和田・新盛・山本）
	男子A	スクラッチ 6位（岡本）
	男子B	スクラッチ 7位（新盛）
	女子	ケイリン 2位（年見）・ポイント・レース 7位（岩元） スプリント 3位・1kmタイムトライアル 8位（鍋島） チームスプリント 4位（岩元・年見）
馬術	少年	馬場馬術 8位（廣野）
カヌー	(スラローム)	成年男子 カヤックシングル(25ゲート) 4位・(15ゲート) 7位（瀧口将矢） 成年女子 カヤックシングル(25ゲート) 5位・(15ゲート) 6位（瀧口みなみ）
	(スプリント)	成年男子 カヤックシングル(500m) 1位・カヤックシングル(200m) 3位（棚田） 成年女子 カヤックシングル(500m) 6位・カヤックシングル(200m) 4位（谷口） 少年男子 カナディアンシングル(500m) 1位・カナディアンシングル(200m) 2位（藤田） 少年女子 カヤックフォア(500m) 1位 カヤックフォア(200m) 2位（平田・高山・淀川・村橋）
空手道	少年男子	組手個人 2位（生島）

令和7年度 第24回全国障害者スポーツ大会「わたSIGA輝く障スポ」宮崎県選手記録一覧

開催期日：令和7年 10月 25日～27日 開催地：滋賀県

NO	競技	区分	氏 名	所属	性別	年齢区分	種目	記録・結果	順位	金	銀	銅
1	陸上競技	知的	甲斐 奏佑	宮崎日本大学 高等学校(宮崎市)	男	少年	100m	12"99	8位			
							200m	26"15	5位			
2		知的	河野 一郎	みやざき中央 支援学校(宮崎市)	男	少年	400m	57"42	5位			
							200m	25"36	6位			
3		知的	山田 優希	児湯るびなす 支援学校(西都市)	男	少年	50m	9"41	7位			
							立幅跳	2m54	3位			1
4		知的	三好 秀和	宮崎市	男	壮年	800m	2'36"85	5位			
							400m	1'9"23	2位		1	
5		知的	山中 唯華	門川高等学校 (延岡市)	女	少年	走幅跳	4m73	1位	1		
							50m	7"48	1位 大会新	1		
6		知的	河野 碧衣	児湯るびなす 支援学校(高鍋町)	女	少年	50m	7"80	3位			1
							200m	31"78	3位			1
7		視覚	関谷 瞳	宮崎市	女	1部	50m	8"45	2位		1	
							200m	32"97	1位	1		
8		聴覚	岡崎 由妃	都城さくら聴覚 支援学校(都城市)	女	1部	ソフトボール投	9"10	1位	1		
							50m	36m98	2位		1	
9		肢体	有木 理一郎	姫城中学校 (都城市)	男	1部	スラローム	1'1"9	5位			
							50m	25"40	6位			
10		肢体	花坂 啓尋	高鍋町	男	1部	砲丸投	10m43	2位		1	
							50m	8"40	1位	1		
11		知的	河野碧衣・河野一郎・甲斐奏佑・山中唯華				400mリレー	51"58	3位			1
12	水 泳	聴覚	木原 宗士朗	都城さくら聴覚 支援学校(都城市)	男	1部	25m自由形	18"36	2位		1	
							50m自由形	41"47	5位			
13		知的	山田 玲美奈	宮崎市	女	少年	25m平泳ぎ	18"27	2位		1	
							50m平泳ぎ	40"53	2位		1	
14		知的	甲斐 野々華	宮崎市	女	青年	50m背泳ぎ	35"65	1位	1		
							50m自由形	30"72	1位	1		
15	卓 球	肢体	齋藤 和洋	宮崎市	男	2部	一般卓球(肢体)	1勝1敗	2位		1	
16		肢体	堀田 怜央	三股町	男	1部	一般卓球(肢体)	2勝0敗	1位	1		
17		視覚	川野 健一	宮崎市	男	2部	STT(視覚)	2勝0敗	1位	1		
18		知的	三輪 さくら	新富町	女	青年	一般卓球(知的)	0勝4敗	4位			
19		精神	小玉 裕大	宮崎市	男	青年	一般卓球(精神)	0勝4敗	4位			
20	フライング ディスク	肢体	今西 佳治	宮崎市	男	2部	アキュラシー5m	3投	7位			
							ディスタンス(座位)	22m67cm	4位			
21		肢体	川村 義幸	美郷町	男	2部	アキュラシー5m	9投	2位		1	
							ディスタンス	31m52cm	2位		1	
22		知的	平野 蒼真	延岡市	男	青年	アキュラシー5m	8投	2位		1	
							ディスタンス	16m93cm	8位			
23	ボッチャ	肢体	岩切 貴代美	宮崎市	女	2部	座位	2位			1	
24		肢体	吉村 昌彦	高鍋町	男	2部	立位					
25	ボウリング	知的	蛸原 大貴	日南市	男	青年	青年男子	896点	1位	1		
26		知的	酒匂 椎奈	日南市	女	青年	青年女子	496点	3位			1

※1部…39歳以下 2部…40歳以上

※少年…19歳以下 青年…20歳～35歳 壮年…36歳以上

メダル数

総メダル数

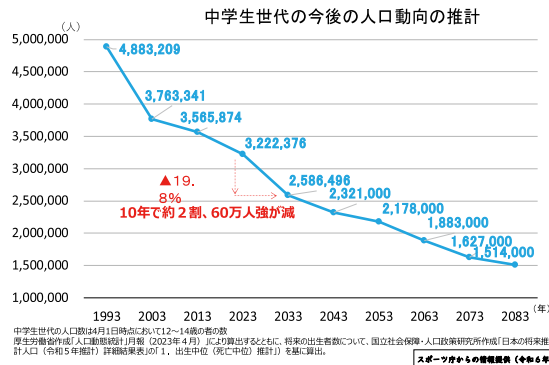
10 12 5

27

宮崎県の部活動地域展開について

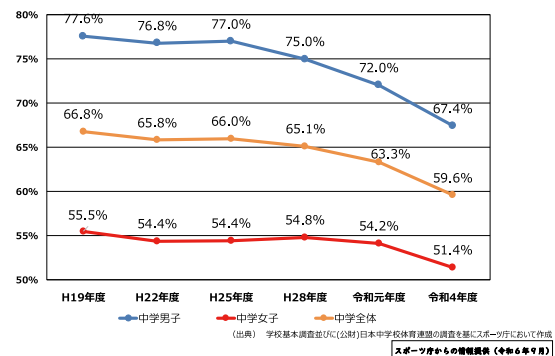
少子化・人口減少の加速化

- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数／学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難。



運動部活動 参加率 (中学校)

- 運動部活動への参加率は減少傾向にある。



宮崎県 中学校運動部加入状況【H25とR7との比較】

	平成25年	令和7年	増減
陸上	1,723	1,507	-216
水泳	398	303	-95
バレーボール	2,432	1,868	-564
軟式野球	2,998	1,759	-1,239
ソフトテニス	3,885	2,415	-1,470
卓球	1,445	1,175	-270
弓道	696	652	-44
サッカー	2,724	1,389	-1,335
バスケットボール	3,009	2,468	-541
柔道	341	125	-216
剣道	555	303	-252
相撲	0	0	0
体操	38	30	-8
新体操	33	23	-10
ソフトボール	495	177	-318
バドミントン	1,155	1,361	206
ハンドボール	266	218	-48
駅伝	46	56	10
ジュニアラグビー	117	66	-51
テニス	368	293	-75
空手	32	2	-30
ゴルフ	46	22	-24
スキー・雪	12	52	40
合計	22,814	16,264	-6,550
生徒総数	33,413	29,882	-3,531

上記のグラフは、日本全体における中学生世代の今後の人口動向の推計と中学校運動部活動参加率です。今後、学校数の減少、それ以上に進む少子化で一つの学校に対する生徒数は、さらに少なくなっていくことが予想され、今以上に学校単位で部活動を持続していくことは困難な状況が予想されます。それに伴い、運動部活動への参加率は減少傾向にあります。

左の表は、平成25年度と令和7年度の県内中学生の部活動加入数と生徒総数の比較です。

生徒総数は、この12年間で3,500名程度減っており、部活動の加入者数としては、6,500名以上減っている現状にあります。生徒が減っている以上に、部活動への加入者数が急激に減っている現状です。

このような中、国は「将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実」することを主目的に、部活動改革を進めております。

この部活動改革では、地域クラブの在り方として、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要とされています。

＜新たな価値の例＞

○生徒のニーズに応じた多種多様な体験

(1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術活動の融合、レクリエーション的な活動等)

○生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながりの創出

○地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流

○適切な指導者による良質な指導

○学校段階にとらわれない継続的な活動(引退のない継続的な活動)及び地域クラブの指導者による一貫的な指導

学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていながら、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする「部活動地域展開等」を宮崎県も目指していきます。

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に向けた広報・県民運動の取組について

いよいよ2年後の2027年に本県で「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」(第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会)を開催します。この大会は、「県民総参加型」

による“おもてなしの心”あふれる大会を目指していることから、「する」「みる」「ささえる」の様々な形で県民の方々に関わっていただくため、大会広報及び県民運動の促進に取り組んでいます。



■ダンス出前授業

県内各小・中・特別支援学校を対象に大会イメージソング「ひなたのチカラ」ダンスの出前授業を実施しています。子どもたちは、学校所在地で開催する競技について調べ学習をし、ダンス振付の創作なども行っています。



■PRキャラバン派遣

県内の市町村、企業、地域のイベント・集会などへPRキャラバンを派遣しています。大会PRやダンス・体操のレッスン、披露をはじめ、競技体験やグッズ配布を行っています。7月から9月にかけては滋賀国スポ・障スポへ出場する宮崎県選手団への応援メッセージ募集も実施しました。



■ボランティア

大会に向け、広報ボランティア、運営ボランティア、手話・要約筆記ボランティアをそれぞれ募集しています。

- 広報ボランティア：イベント等における大会PR活動など
- 運営ボランティア：開・閉会式や競技会等での運営補助など
- 手話・要約筆記ボランティア：手話や要約筆記による情報保障など



■大会公式番組「100万人のひなたのチカラ」放送

大会イメージソングを歌う特別バンド「ひなたサイン(濱田詩朗、JILLE、真北聖子)」が競技をされている方やそれを支える方々のもとを訪れ、競技の魅力や国スポ・障スポの魅力に楽しく迫る番組を放送中です。

- 放送日時： MRT 宮崎放送 毎月第3月曜 18:55～
UNK テレビ宮崎 毎月第3日曜 11:45～



■大会 Web 広報誌「つむぐ」発行

大会までの日々を紡ぐ Web 広報誌を、令和6年度から発行しています。

- 発行日：原則偶数月20日発行



■県民運動促進動画及び県民運動ガイドの公開

県民・市町村・県のそれぞれが役割に応じた取組を展開して大会を支える「県民運動」を進めるため、県民一人一人に合った大会の関わり方を伝える「県民運動促進動画」及び「県民運動ガイド」を公開しています。



※番組、広報誌、動画及びガイドは大会公式HPで御覧になれます。

2027 宮崎国スポ・障スポにむけて

一般財団法人宮崎県水泳連盟
理事長 水島 千江子

2027年ここ宮崎で国スポ・障スポが行われます。私にとっては、2度目の国スポ開催を経験します。以前は国体と言いましたが、佐賀県から国スポと名称も新しくなっています。

以前の国体では選手として出場し、日々練習を重ね高校生活もそれにつやした気がします。現在はターゲットエイジを中心に2年後に迫る宮崎国スポに向けて日々努力をしています。新しい競技施設として、整備されたプールでの日々の練習のお陰で全国中学の大会で活躍する選手やナショナルチームに選出された選手も育ってきています。以前は雨が降ると気温が下がり寒く、雷が鳴ると練習を中断し、晴天時は気温、水温ともに高くとても集中して練習できる環境ではありませんでした。それに引き換え現在は環境にも恵まれ、選手も集中して練習することができます。質の高い施設を作って頂き感謝しております。また、新しい競技施設で全国の大会を開催することができるので、選手はもちろんの事、競技役員の質の向上も見られます。さらに、インターナショナル選手の合宿も受け入れ、選手も同じ練習をさせて頂き、この1年は実りある年になっていると感じます。水球プールも宮崎工業高校に作って頂き、ジュニアの育成女子チームの育成など高校生だけではなく、あらゆる世代の選手に活用してもらっています。女子チームにおいては、世界で活躍する選手がようやく2026年から揃いますので、入賞の期待が大きくなっております。

OWSにおいては、先日延岡市の協力のもと第1回須美江カップを行い多くの選手が参加しました。本県出身の松田 文志選手も駆けつけていただき、選手を激励して頂きました。競泳に限らず、水泳は種目が多いのでそれぞれの種目で2027年に向けて頑張っていきたいと思っています。

結びに宮崎県水泳連盟一同、選手育成、競技役員育成、大会運営など一丸となって宮崎国スポ・障スポを成功させていきたいと思います。

『日本のひなた 宮崎国スポ』での飛躍を目指して

宮崎県体操協会

宮崎県体操協会は「体操競技」「新体操」「トランポリン」の3種目からなり、国スポには体操競技(男女)、新体操(男女)、トランポリン(男女個人)の計8種別が参加します。当協会は各種別一体で競技力向上と普及振興に取り組んでいます。

「日本のひなた 宮崎国スポ」に向け、各種別でターゲットエイジ事業やアドバイザー招へい事業を活用し、県外講師から最新ルール、トレーニング方法、演技指導を受けています。県外強豪との合同練習会等も実施し、指導者研修の成果も県内へ波及させています。

体操競技では、令和5年完成の宮崎県体操場を高校やクラブが活用し競技力向上に励んでいます。充実した環境が選手の成長を後押しし、令和6年には藤井涼平選手(宮崎県出身)が全日本種目別選手権跳馬で優勝しました。国スポ成年男子は、強化選手が加わり43年ぶりに九州ブロックを通過、先般の国民スポーツ大会で6位入賞を果たしました。強化策と新環境が結実し始めており、宮崎国スポでの活躍が期待されます。

新体操では、専門アドバイザーのもと芸術性や表現力を磨いています。特に新体操男子は昨年の国スポから正式種目に復帰し、伝統校・小林秀峰高校の地元での活躍が期待されます。女子団体も構成や同調性の精度向上に取り組んでいます。ジュニア層の育成にも力を注ぎ、早期発掘と継続的な強化体制を構築しています。

トランポリンも強化を進め、専門指導者による基礎技術の徹底を図ることや県外の強豪クラブチームとの合同練習会への参加等の活動をしながら選手・指導者共に競技レベルの向上を計っています。

「日本のひなた宮崎国スポ」は最大の目標であり、競技の魅力を県民にアピールする絶好の機会です。地元開催の声援を力に変え、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう協会一丸でサポートします。

本県のスポーツ振興と子どもたちの健全育成に貢献できるよう、役員・指導者・選手一同、一層努力します。日頃よりご尽力いただく関係各位、ご支援いただく県民の皆様感謝申し上げます。引き続きのご支援、ご声援をお願い申し上げます。



宮崎県総合型地域スポーツクラブの紹介

NPO法人 東大宮スポーツクラブ			設立日	平成15年8月30日		問合せ	杉元 雅代	
所在地	〒880-0837 宮崎市村角町灰作1408-14			TEL	(0985)20-6122		FAX	(0985)48-6133
e-mail	hsc@silver.plala.or.jp						会員数	642名
HP	https://www.m-hsc.com/							
主な対象エリア	宮崎市(東大宮地域近郊)			PR	幼稚園児から高齢者まで国籍を問わず様々な講座を楽しんでいます。			
会費	入会金：1,000円／年会費：2,400円(入会月により異なる) 月会費：500円～3,500円(講座により異なる)							
活動種目	一 般		子ども・幼児		詳しくはこちら			
	文科系3講座、球技系8講座 体操運動ダンス系14講座(全22講座)		剣道、複合運動、卓球、陸上、ソフトバレー、バレー、サッカー、バドミントン、ラグビー、ダンス、バレエ、英語(全16講座)					
活動施設	東大宮SCクラブハウス、東大宮コミュニティセンター、東大宮小、東大宮中、宮崎東小、向陽園							
イベント	クラブ会員交流会、ミニバレー大会、グラウンドゴルフ大会 等							

みやざき中央スポーツクラブ			設立日	平成18年3月19日		問合せ	山本 由美子	
所在地	〒880-0812 宮崎市高千穂通1-3-22(エースランド内)			TEL	070-5560-9662		FAX	(0985) 25-5305
e-mail	yamamoto179@yahoo.co.jp						会員数	352名
HP	-							
主な対象エリア	○小学校：宮崎市内全小学校 ○中学校：宮崎市内全中学校			PR	「健康とコミュニケーション」をテーマにボウリングを中心に楽しんでいます			
会費	入会費：なし / 年会費：なし 月会費：参加時都度徴収							
活動種目	一 般		子ども・幼児		詳しくはこちら			
	健康ボウリング教室、健康卓球教室、ヨガ教室		ひなたJrボウリング教室、陶芸教室、夏休みJrボウリング教室					
活動施設	宮崎エースレーン							
イベント	クラブ交流会 等							

NPO法人 真幸ホットはっとクラブ			設立日	平成18年4月1日		問合せ	市田 徳幸	
所在地	〒889-4151 えびの市大字向江1188-10 真幸地区体育館内			TEL	080-1736-9084		FAX	(0984)48-0588
e-mail	masakisupo@leaf.ocn.ne.jp						会員数	223名
HP	http://www.masakihot.com/							
主な対象エリア	○小学校：真幸小 ○中学校：真幸中			PR	えびの市内の他の二つスポーツクラブ(いいの夢クラブ、いい汗加久藤クラブ)とクラブ連絡協議会を組織して、いずれかのクラブに入会すると、どのクラブでも活動が可能です。			
会費	入会金：なし／年会費：一般4,800円、夫婦・家族4,500円、中学生以下3,600円／月会費：なし							
活動種目	一 般		子ども・幼児		詳しくはこちら			
	ソフトバレー、卓球、ミニテニス、ヨガ、大正琴、絵画、他全15講座		バドミントン、書道、英会話、けん玉					
活動施設	主な活動場所(真幸地区体育館等)							
イベント	主なイベント(グラウンドゴルフ大会等)							

NPO法人 佐土原スポーツクラブ			設立日	平成19年2月24日		問合せ	後藤 道子	
所在地	〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島19276-3			TEL	(0985) 73-4442		FAX	(0985) 71-1740
e-mail	sadowara-sc@san.bbiq.jp						会員数	264名
HP	http://www.sadowara-sc.com							
主な対象エリア	○小学校：広瀬小、広瀬北小、広瀬西小、那珂小、佐土原小 ○中学校：広瀬中、久峰中、佐土原中 ○高校：佐土原高校			PR	いつでも どこでも だれでも 仲間と共にリフレッシュ！地域のみんなで作る「総合型地域スポーツクラブ」好きなスポーツや文化を見つけて、生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりを一緒にしませんか。			
会費	入会費：なし / 年会費：大人3,000円、子ども2,000円、障がい者1,000円 / 参加費：教室によって異なります。							
活動種目	一 般		子ども・幼児		詳しくはこちら			
	バドミントン、テニス、フィットネスフラダンス、ヨガ他全10講座		アクティブキッズ、えいご、キッズチア、キッズラグビー他全5講座					
活動施設	佐土原総合文化センター、広瀬地区交流センター、佐土原体育館 他							
イベント	テニスイベント、フットサル大会、バドミントン交流大会 他							

令和7年度公益財団法人
日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者等表彰受賞者

令和7年度は、下記の4名の指導者の皆様が受賞されました。受賞おめでとうございます。永年にわたり、本県スポーツの振興に貢献していただき、心より感謝申し上げます。



ちょうさ えつお 様 スポーツドクター

永年にわたり、国民スポーツ大会の帯同ドクターとして活動するとともに、宮崎県スポーツ医・科学委員長を歴任し、競技力向上に大きく貢献した。



おづき かつひろ 様 アスレティックトレーナー

永年にわたり、アスレティックトレーナーとして国民スポーツ大会の帯同アスレティックトレーナーとして活動するとともに、宮崎県スポーツ医・科学副委員長を歴任し、競技力向上に大きく貢献した。



ひらやま かずこ 様 アシスタントマネージャー

永年にわたり、スポーツ指導員として地域におけるスポーツの推進及びニュースポーツ等の普及活動を地域に定着させるとともに、住民の健康増進に大きく貢献した。



ひらすみ たつみ 様 陸上競技コーチ1

永年にわたり、陸上競技指導者として競技力向上に尽力するとともに、日南市陸上競技協会理事長・監事を歴任し、普及振興に大きく貢献した。

令和7年度公益財団法人
日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者退任感謝状



ひろた あきら 様 スポーツトレーナー1級

永年にわたり、スポーツトレーナーとしてバドミントン競技の競技力向上に尽力するとともに、宮崎県スポーツ指導者協議会会長を歴任し、本県スポーツ指導者の育成等に大きく貢献した。

編集後記

令和7年も師走を迎え、「東京2025世界陸上」「東京2025デフリンピック」での日本選手団の活躍が世界に勇気と感動を届け、スポーツの力が改めて社会に希望をもたらした一年となりました。

本県では、2027年開催の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備や取組がより一層加速するとともに、地域一体となった気運の醸成が育まれています。

スポーツ指導者には、スポーツの多様性や部活動の地域展開への対応など、求められる視点も広がる中、本協議会の役割はますます重要となります。

今号では、競技団体の実践や部活動の地域展開に関する情報提供等を通じて、未来を担う人材育成のヒントを探りました。「躍動みやざき」が、スポーツを通じた人づくり・地域づくりの一助となることを願っております。

令和7年度宮崎県スポーツ指導者協議会理事

役職	氏名	所属名等
会長	河野 敏史	一般財団法人宮崎陸上競技協会
副会長	鹿島庄一郎	宮崎県ソフトテニス連盟
副会長	井上 聖子	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
理事	柏木 俊彦	宮崎県バレーボール協会
//	岩倉 稔典	一般社団法人宮崎県自転車競技連盟
//	立本 兼好	宮崎県ボクシング連盟
//	平島 昇	宮崎県セーリング連盟
//	武田 哲郎	宮崎県相撲連盟
//	串間 敦郎	宮崎県立看護大学
//	黒木 章宏	宮崎県教育庁スポーツ指導センター
//	山田 一	宮崎県スポーツ推進委員協議会
//	梶田 明里	宮崎県スポーツ少年団
//	中島 孝一	宮崎県障がい者スポーツ協会
//	甲斐 浩記	宮崎県教育庁スポーツ振興課
//	有水 浩智	宮崎県高等学校体育連盟
//	佐藤 雄太	宮崎県中学校体育連盟
//	小玉 忠宏	学識経験者
//	日高 恵幸	学識経験者

会費（年会費1,000円）納入のお願い

本協議会は日本スポーツ協会公認スポーツ指導者からの会費で運営を行っています。会費は次の事業に充てられています。

- 宮崎県スポーツ指導者研修会（2月開催）
- 県内地区スポーツ指導者研修会
- 広報機関誌「躍動みやざき」（年1回発行）

その他、指導者の育成・活用、資質向上等についての協議を理事会で行い、総会を経て予算を執行させていただいております。

皆様の御協力をお願いします。

今回よりコンビニエンスストアでの支払いが可能となりました！

※1月31日（土）までの期間限定です。

※郵便振込は随時対応可能です。

問合わせ先

公益財団法人宮崎県スポーツ協会

発行元 公益財団法人宮崎県スポーツ協会 宮崎県スポーツ指導者協議会

〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山 1443-12 ひなた宮崎県総合運動公園 受付・案内所2F

☎ 0985-58-5633 ☎ 0985-58-5630

✉ miyazakiken@miyaspokyo.or.jp

宮崎県スポーツ協会 🔍 検索

